

# One Minute Video 制作の事例—駿河台大学編—

メディア情報学部 間島貞幸

授業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 映像制作の流れ(企画・撮影・編集・発信)を理解する。</li> <li>・ 仲間と協力して作品を完成させる過程を通して「グループワーク」を経験する。</li> <li>・ 完成作品を「One Minute Video コンテスト」に応募する。</li> </ul>
対象年齢と人数	<p>メディア情報学部の1年生全員（150人くらい） 4～5人で1つのチームを結成し、1作品制作する。</p>
制作期間	<p>1コマ90分×6週で企画、撮影、編集、ファイルの書き出しまで行う。春学期の最後の授業で上映会を行い、担当の先生が講評する。</p> <p>第1週目 チームを作る。作品の作り方を教える。テーマ発表。作品を企画する。絵コンテにまとめる。</p> <p>第2週目 作品を企画する。絵コンテにまとめる。iPadによる撮影の方法を教える。</p> <p>第3週目 撮影</p> <p>第4週目 撮影</p> <p>第5週目 編集</p> <p>第6週目 編集～ファイルに書き出す。</p>
使用機材	<p>iPadで撮影、編集、書き出しまで行う。</p>
特徴	<p>1年生は、1クラス15人で10クラスある。 各クラスに2人ずつ、制作経験のある有志の先輩学生がTAとして学生指導に当たる。</p>
成果	<p>① 映像制作の魅力を知り、さらに深く学びたいという意欲の向上 ゼロから作品を作ることの難しさを感じながらも、完成させた時の達成感を味わい、もっとわかりやすく伝えるための考え方や撮影、編集について学びたいと考える学生が多かった。映像作品は、正解がない。そのことを理解し、今後、作り手の立場になって、いろいろな作品を見て研究して、魅力的な作品を作ってくれることを期待している。</p> <p>② チームで協力して作り上げることの面白さを知る チームのみんなと協力しあって何か行うことを苦手と感じる若者は少なくない。しかし今回の取り組みを通じて、1つの目標に向かってみんなで意見</p>

を交わすことでお互いを理解し、結果として仲良くなることを学んだ。またひとりでなく、みんなで協力することでより良いものができること、その結果として、強い達成感を感じることを学んだ学生が多かった。

### ③主体性の向上

主体的に行動することが苦手と感じる若者が多い。しかし、映像作品は、積極的に意見を言ったり、相手の意見に耳を傾けるなど自分から意識的に行動を起こさないと完成までこぎ着けることができないことを学び、多くの学生が、主体性を持って作品作りに臨んだと言える。これをきっかけに、映像制作に限らず、今後「何事も一生懸命やる」と覚悟を決めた学生が見受けられたことはとても良いことだと考える。